

26年度 氷見市教育総合センターだより 第1報

メールアドレス kyouikukenkyu@city.himi.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.city.himi.toyama.jp/hp/menu000000500/hpg000000416.htm>

学びの連続ドラマ!?



氷見市教育総合センター
所長 加野 陽子

メダカやオタマジャクシなどが春の光りを浴びて元気に動き回っている。先日、完成したイタセンパラ保護池の様子である。ふと、以前勤務した学校での初めての春のことを思い出した。

池で珍しい卵を見付けた。「カエルの卵とは違うようだけど、何の卵だろう。」誰も分からなかった。翌日、一人の男子が「クロサンショウウオの卵だよ。」と知らせに来た。疑問を抱いた彼は、家へ帰ってからおばあちゃんを池に連れて行って尋ね、その後、本で調べて間違いないと分かり、翌朝、元気に報告に来たのだ。その年、卵から孵化してのちもずっとクロサンショウウオと関わることになった。自分が知りたい、調べたいと思ったことに対しては、家へ帰っても進んで学習する子どもの姿である。

さて、昨年度の全国学力・学習状況調査結果における、本市の課題の一つは、全国や県に比べて家庭学習の時間が少ないことである。逆に、TVゲーム等に費やしている時間は多い。各学校では、その対策として、小中学校が連携して家庭学習週間やノーメディア週間などを設けたり、学習の手引きを作成したりして家庭学習の定着に向けた努力をしているところである。

今年度は、もう1歩踏み込んで、2つのことを提案したい。1つは、学校の授業と家庭学習が、よりつながるようにすること。2つは、一人一人が具体的数値目標をもって家庭学習時

間を増やすこと、である。

皆さんも、一度見たTVドラマの続きが気になってついつい見ていることはないだろうか。私は、半年ごとに変わるNHKの朝ドラがその一つである。1週間ごとに工夫したテーマを設け、1話ごとに前回のポイントを振り返ることで、さて次は・・・と引き込まれていく。学習も、連続ドラマのように楽しむことができれば、学習時間もおのずと増えると思われる。1時間のねらいの到達後、次時の予告を入れて興味・関心をもたせ、家庭での復習や予習につなげる学びを仕組むのである。

家庭学習は、自由勉強という方法もあるが、「自由」は、高度で厳しい。自分のためになる、次の学びにつながる学習方法を習得した上でできることではないだろうか。

秋田県では、学習ノートを工夫し、一人一人が今日の授業から家庭学習にすることを見付けて書き込んでいる。更に家庭学習ノートに、保護者や教師がコメントを記していると聞く。小学校1年生から続けているというからすごい。今年度、教育総合センターから秋田県へ視察に行き、学力向上に向けての取組を学んでみたいと考えている。

家庭学習が、授業と授業をつなげる場、自分で課題をもって学ぶ場となれば、意欲的に取り組むことができるのではないかと、春の池を見ながら思いめぐらした時間であった。

平成26年度 教育総合センターの主な事業のお知らせ

今年度は、下記のとおり事業及び研修会等を予定しています。有意義な成果が上がるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

I 教職員研修事業

1 教育相談等コーディネータースキルアップ研修会

① 特別な支援を要する児童生徒の現状把握

② 不登校児童生徒の理解を深める研修会

③ 特別な支援を要する児童生徒を意識した学級づくり

④ チームによる支援の実践研究

2 学力向上研修会

① 学力向上に向けた課題と対策

② 学級経営を基盤とした学力の向上

③ 3大学連携による教員研修会

④ 学力・学習状況調査分析研修会

⑤ 学力向上実践発表

3 ICT 活用力向上研修会

① 電子黒板、タブレット PC の効果的な使い方

② 授業効果を高める ICT 機器活用法

③ デジタル教科書、デジタルコンテンツの効果的な活用法

④ 授業公開・研究協議

4 幼・保・小連携教育研修会

5 生徒指導研修会

6 ふるさと教育研修会

7 理科教育講座（自然観察）

8 教育セミナー

① 第1回教育セミナー（7月31日）

② 第2回教育セミナー（8月26日）

9 仲間に学ぶ研修会

10 学校経営研修会

II 調査研究事業

1 チーム支援推進委員会（委員8名）

2 学力向上推進委員会（委員8名）

3 ICT 活用教育推進委員会（委員6名）

III 教育相談事業

1 教育相談

2 適応指導教室（あさひ）

3 不登校児童生徒の理解を深める研修会

IV 国際理解教育推進事業

1 外国語及び外国語活動に関する業務

V 学校評価推進事業

1 自己評価の実施・公表

2 学校関係者による評価の実施

3 自己評価と学校関係者評価の結果の収集

VI 教育サービス事業

1 教育サービス

① 教育資料の収集・提供、図書コーナーの充実

② 広報活動による情報の提供

③ 研究・研修の援助

④ 生徒指導等に関する相談

⑤ 科学作品展

⑥ 教育論文・実践記録の募集・表彰

⑦ 自主研修の補助

2 教科書展示会（市立図書館で展示）

3 宿泊学習・修学旅行等期間中の指導員の派遣

VII その他の事業

1 氷見の学力向上フロンティア事業

拠点校（湖南小、十二町小、上庄小、海峰小、西部中、十三中）の設置

2 「ひみっ子夢と希望」きらめき推進事業

3 氷見の教育基本方針推進事業

運営委員会、調査研究事業の委員会紹介

＜運営委員会について＞

教育総合センターでは、センターが行う事業運営について審議し、他の教育関係諸団体との連絡調整を図り、センターがその目的を達し得ることができるように設置された委員会です。センター所長が委嘱した10名の運営委員で構成されています。第1回の運営委員会が4月22日(火)に開催され、下記の委員の方々から貴重なご意見をいただきました。できる限りご意見を取り入れて運営していきたいと考えています。

運 営 委 員 員 (敬称略)

- ・委員長 湖東 政俊 (北部中学校長 中学校長会会長)
- ・副委員長 辻本 正樹 (宮田小学校長 小学校長会会長)
- ・委員 稲積 玲子 (南部中学校長 中学校教育研究会会長)
- ・委員 浦山 博 (比美乃江小学校長 小学校教育研究会会長)
- ・委員 澤武 俊一 (朝日丘小学校教頭 小・中学校教頭会会長)
- ・委員 釣谷 豊一 (灘浦小学校 小・中学校教務主任会会長)
- ・委員 狩野美智代 (北部中学校 中堅教員)
- ・委員 堀田 俊宏 (西部中学校 中堅教員)
- ・委員 池田 充良 (窪小学校 中堅教員)
- ・委員 小栗 千佳 (湖南小学校 中堅教員)

＜調査研究事業について＞

今年度の調査研究事業として「チーム支援推進委員会」「学力向上推進委員会」「ICT活用教育推進委員会」を立ち上げて研究推進を行い、先生方の教育指導の援助になればと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

チーム支援推進委員	学力向上推進委員会	ICT活用教育推進委員会
<p>[主な活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム支援体制構築の推進 ・実践事例リーフレットの作成・配布 <p>[メンバー]</p> <p>{◎委員長、○副委員長 敬称略}</p> <p>◎扇谷 孝代(十三中学校教頭)</p> <p>○堀江 優一(窪小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山崎 里美(朝日丘小学校) ・大菱池仁子(比美乃江小学校) ・浦 武司(速川小学校) ・有澤由美子(灘浦小学校) ・森谷 信久(南部中学校) ・濱下真由美(西條中学校) 	<p>[主な活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の分析と考察、改善プランづくり ・教科指導系統表に基づく乗り入れ授業 ・小6対象問題集の改訂 <p>[メンバー]</p> <p>{◎委員長、○副委員長 敬称略}</p> <p>◎金原 礼子(久目小学校教頭)</p> <p>○濱井 孝久(北部中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・澤村 梢(窪小学校) ・七田 尚美(湖南小学校) ・宮林 次美(十二町小学校) ・荒屋 夕香(海峰小学校) ・山田真理子(西部中学校) ・新田 稔(西條中学校) 	<p>[主な活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育効果を高めるICT活用の推進 ・デジタルコンテンツの収集・配布 <p>[メンバー]</p> <p>{◎委員長、○副委員長 敬称略}</p> <p>◎鶴 賢行(上庄小学校教頭)</p> <p>○干場耕太郎(北部中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西 裕之(比美乃江小学校) ・表 克昌(宮田小学校) ・船場 涼介(明和小学校) ・松本 富昭(灘浦中学校)

平成 26 年度 スタッフ紹介

よろしくお願ひします！

職 名	氏 名	主 な 担 当 事 務
所 長	加 野 陽 子	総括、管理
次 長	濱 田 義 博	事業計画・運営、管理、ICT 教育、指導員の派遣等
生活指導主事	光 安 淳 子	生徒指導、教職員研修、SSW の派遣、ALT の勤務派遣等
教育専門員	山 崎 外 美 雄	学力向上、氷見の教育基本方針、小中連携教育等
指 導 主 事	栗 原 紀 子	学力向上、氷見の教育基本方針、広報、教育図書等
指 導 主 事	山 本 満 里 子	小中連携教育、学校評価等
教育相談訪問員	田 中 順 一	教育相談、適応指導教室「あさひ」通室児童生徒の指導・援助、専門機関との連携等
指 導 員	糸 加 奈 子	
事 務	能 登 真 里 奈	予算及び決算、旅行命令簿、文書収発及び整理保管等
外国語指導助 手	アレックス・クラム ジェフリー・カオ ジョセリン・ボートナー アンドレア・スペイン	小中学校の外国語授業の補助、国際交流
ソーシャルスク ールワーカー (市派遣 SSW)	木 林 美 知 子 飯 田 郁 美 干 場 弘 美	家庭訪問等による相談活動 学校・家庭・関係機関等との連携・ネットワークの構築 保護者、教職員に対する支援・相談・情報提供等

※ 宿泊学習・修学旅行等期間中の保健業務に関して、糸指導員を派遣します。ご要望があれば教育総合センターへ申し込んでください。

教育関係図書について

教育総合センターでは、各種の教育関係図書や教科書等を保管しています。また、下記の月刊雑誌等も取り揃えて閲覧や貸し出しを行っています。ぜひご利用ください。

- ・初等教育資料（東洋館出版）
- ・総合教育技術（小学館）
- ・月刊生徒指導（学事出版）
- ・道徳教育（明治図書）
- ・内外教育（時事通信社）
- ・中等教育資料（学事出版）
- ・月刊教職研修（教育開発研究所）
- ・月刊学校教育相談（ほんの森出版）
- ・指導と評価（日本図書文化協会）
- ・教育委員会月報（第一法規）

※ 各種機関発行の紀要や報告書や CD・DVD 等も保管しています。学校配布済みの「収蔵教育資料目

録」を参考にしてください。なお、事前に電話申し込みをいただければ、用務員や事務員の方等の代理でも貸し出しができます。

お知らせ

市庁舎移転に伴って、学校教育課等も新庁舎に移転します。教育総合センターは、5月12日から旧学校教育課の場所に事務室を移転します。